

第75回定期地方大会①

10月16日（土）10時半～ 千葉教育会館

国労

蘇我運輸区分会ニュース

開会あいさつ

地本安田副委員長より、この間の情勢報告の他「コロナ禍で、感染症拡大防止対策を徹底し、大幅な時間短縮での開催となる。皆さんの協力をお願いしたい」旨のあいさつがありました。

議長選出



千葉建築分会（同技セ）の森田誠一さん（59歳）が選出され、議事が進行していきましました。

森田さん、ありがとうございます。ありがとうございました。あいさつの中で「（コロナ禍で）

人との関わりが出来づらくなっているが、話す仲間がいたことが財産だ」といった言葉が印象的でした。

委員長あいさつ

地本井村委員長より「コロナ禍における初めての赤字経営に続く変革2027の前倒し

で大合理化が強行され、働き方改革に名を借りた労働強化の施策が押し寄せようとしている。

組合員の多くはJR本体とは別の会社で働いているが、同じ職場で働く仲間として安心して働けるよう頑張ります。

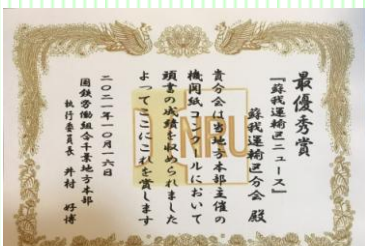


て働き続けられる職場作りと、労働組合、国労組織への共感者を作り出していくことが求められる。今大会で闘う根拠と方針の豊富化を図り、決意を固め合う大会にしたい」等々の報告とあいさつがありました。

来賓あいさつ
東日本中村副委員長
「自民党のプロガンダにしてやられた感があるが、選挙で自公政権に歯止めをかけなければならぬ。会社施策のワンマン化、窓口閉鎖、チケットレス化等々、利用者に分かりづらく多大な迷惑をかけている。働き方改革とは（社員の）働かせ方改革だ」等々のあいさつがありました。

祝 機関紙コンクール、最優秀賞受賞！

地本大会の機関紙コンクールにおいて、当分会ニュースが年間62号の発行で、最優秀賞をいただきました。モチベーションの持続は、編集委員会などの仲間たちからの励ましや様々なご指摘、提案などや、職場で若い人たちからも声をかけられることに尽きます。今後もマイペースではありますが、もうひとふんばり頑張ります。



写真左下は、共に受賞した7名8団体と右下は、一緒にいただいた東日本大会の最優秀賞のものです。ありがとうございました！！



機関紙コンクール受賞団体

- ・ 蘇我運輸区分会「同・ニュース」
- ・ 新浦安（駅）分会 「きずな」
- ・ 佐倉（駅）分会 「国労さくら」
- ・ 新小岩保線分会 「新保ニュース」
- ・ 木更津（駅）分会 「闘灯（ともしび）」
- ・ 運輸協議会 「連協ニュース」
- ・ 千葉運輸区分会 「同・新聞」
- ・ 両国（駅）分会 「機関紙ちゃんこ」

